

教員用

すいがい まも 水害からいのちを守るために

くもずがわへん (雲出川編)



- ・本書では授業のポイントを記載しています。
- ・授業の進め方は、「学習指導・発問計画」の2・3ページを予めご確認ください。
- ・取り扱うコマ数によって、使用しなくてよいページがございます。各ページ上部に、対象時限を記載しておりますのでご確認ください。
例) 4-1 : 4コマ中の1コマ目で扱うページ
3-1 : 3コマ中の1コマ目で扱うページ
2-1 : 2コマ中の1コマ目で扱うページ

1	わたしたちの ^{くもずがわ} 雲出川	1			
	(1) ^{くもずがわ とく} 雲出川の特ちょう	1	1	1	1
	(2) ^{ちけい とく} 地形の特ちょう	3	1	1	1
	(3) ^{かわ れきし} 川の歴史	5	1		
2	^{すいがいじ} 水害時 ^{きけん} におこる危険	7			
	(1) ^{い せ わんたいふう} 伊勢湾台風	8	2		
	(2) ^{すいがいじ} 水害時 ^{きけん} におこる危険	11	2	1	1
3	^{すいがいじ} 水害時にわたしたちが ^{こうどう} とるべき行動	20			
	(1) ^{すいがい} 水害により ^み 身に ^{きけん} 危険があるとき	20	3	2	2
	(2) ^し 知っておくべきこと	23	3	2	2
4	みんな ^{すいがい} でとりくむ水害へのそなえ	27			
	(1) ^{すいがい} 水害で ^{こま} 困らない ^{くふう} 工夫	27	4	3	
	(2) ^{ちいき} 地域 ^{ひと} の人、 ^{かぞく} 家族 ^{たす} との ^あ 助け合い	30	4	3	
5	さいごに	32	4	3	2

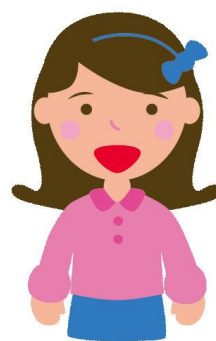
わたしたちといっしょに^{まな}学んでいきましょう。



先生



しょうた



りか

このコーナーで
児童に考えさせながら授業を進めてください

○ ^{ほん} ^{みかた}この本の見方



そのページで^{まな} ^{ことば}学ぶ言葉の^{いみ} ^{せつめい}意味を説明しています。

考えてみよう

みんなで^{かんが}考えてみましょう。

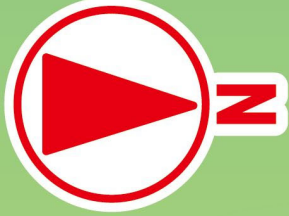
もっと知ろう

^{じゅぎょう} ^{まな}授業で学ぶことに関係する^{かんけい}ことを^と ^あ取り上げて
います。^{じかん}時間があるときに^よ読んでみましょう。

くもずがわ とく
(1) 雲出川の特ちょう

みうねやま
三峰山

きみがの
君ヶ野ダム



みすぎちよう
美杉町

いちしちよう
一志町

なかむらがわ
中村川

じようすいじよう
浄水場

まつさかし
松阪市

ジエイアールきせいほんせん
JR 紀勢本線

くもずがわ
雲出川

こくどう 23 号
国道 23 号

からすちよう
香良洲町

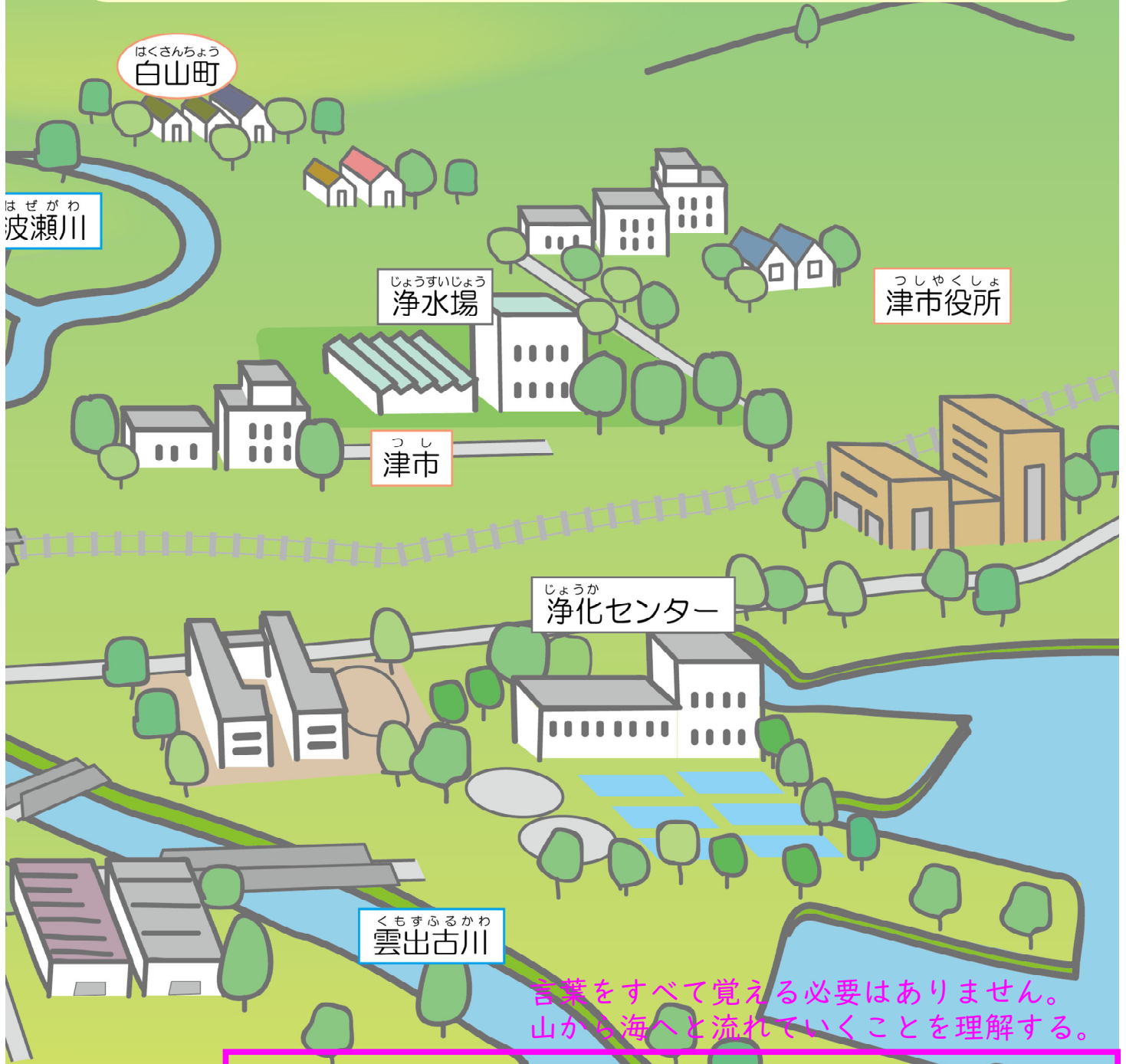
いせわん
伊勢湾

考えてみよう

自分たちのまちに流れる川のことを考える。
「川を利用している」ことを想像させる。

みなさんは川に遊びに行ったりしたことはありますか。

川はどのようなことに利用されているでしょうか。



言葉をすべて覚える必要はありません。
山から海へと流れていくことを理解する。

くもずがわ みえけん ならけん さかい みうねやま なが
雲出川は、三重県と奈良県の境にある三峰山から流れ
はじめ、はぜがわ なかむらがわ かわ なが
波瀬川や中村川などの川と流れをひとつにして、
いせへいや なが ご くもずふるかわ いせ
伊勢平野を流れます。その後、雲出古川とわかれて、伊勢
わん なが
湾に流れこみます。

ちけい とく
(2) 地形の特ちょう

^{くもずがわ}雲出川は、^{ちけい}地形によってさまざまな^{すがた}姿をしています。

^{のうぎょう}農業や^{ひと}人が^{あつ}集まる^{ばしょ}場所として^{りよう}利用されるほか、^い生きものにとっての
^{たいせつ}大切な^{すみか}すみかになっています。



^{のうぎょう}農業 (一志米)



アユつり



^{なが}流れがはやく^{あさ}浅いところ

^{さんらんじょう}(アユの産卵場)



^ひ干がた



^{かわ}川が^{うみ}海に^{なが}流れこむ^{ところ}所や、^{しず}静かな^{かいがん}海岸には^{こま}細かい^{すな}砂や^{どろ}泥がたくさんたまります。潮が引いたときにできる^{しお}遠浅の^ひ浜を「干がた」といいます。

くもずがわ せいかつ い もの ゆた
 雲出川はわたしたちの生活や生き物に豊か
 めぐ
 な恵みをあたえているね。わたしたちの
 がっこう いえ ちか
 学校や家の近くでは、どのような景色がみ
 けしき
 られるかな。



かせんりよう すいせいせいぶつ ちょうさ
 河川利用 (水生生物の調査)



かせんりよう なかむらがわ さくら
 河川利用 (中村川の桜)



かせんりよう かせんじきこうえん
 河川利用 (河川敷公園)

多様な流れのおかげで、生きもののすみかや人々の河川利用があること学ぶ。
 川の「良い面」を伝える。



たかのじょうすいじょう
 高野浄水場

※以降で水害による被害を伝えます。
 川に対して「怖い」印象が残ってしまわないように、川の「良い面」を
 本ページで必ず伝えてください。

かわ れきし
(3) 川の歴史

くもずがわ むかし すいうん
雲出川では、昔から水運がさかん
でした。じょうりゅう 上流からはいかだで木材
を運び、はこ かりゅう 下流のほうでは、こめ ちや
・炭・塩などを運んでいました。
すみ しお はこ
・炭・塩などを運んでいました。
ひとびと くもずがわ せいかつ
人々にとって、雲出川は生活の
いちぶ
一部だったのです。



すいうん かわ りよう
水運…川を利用して、
ふね ひと はこ
船で人やものを運ぶこと。



くもずがわ なが
雲出川の流れ

川が物流の発達や水源の確保として
人々に多大な恵みを与えたことを学ぶ。

一方で氾濫をくりかえしてきたことも学ぶ。

しかし、ひとたびおおあめ 大雨がふれば、かわ みず いちめんみず
川から水があふれて一面水びたしに
なりました。そこで、ひとびと かくち じぶん のうち まも ていぼう
人々は各地で自分の農地を守るために堤防をつく
りました。それぞれが自分の農地を守るために堤防をつくったので、
ていぼう とぎ ぶぶん かいこうぶ
堤防が途切れた部分（開口部）があります。



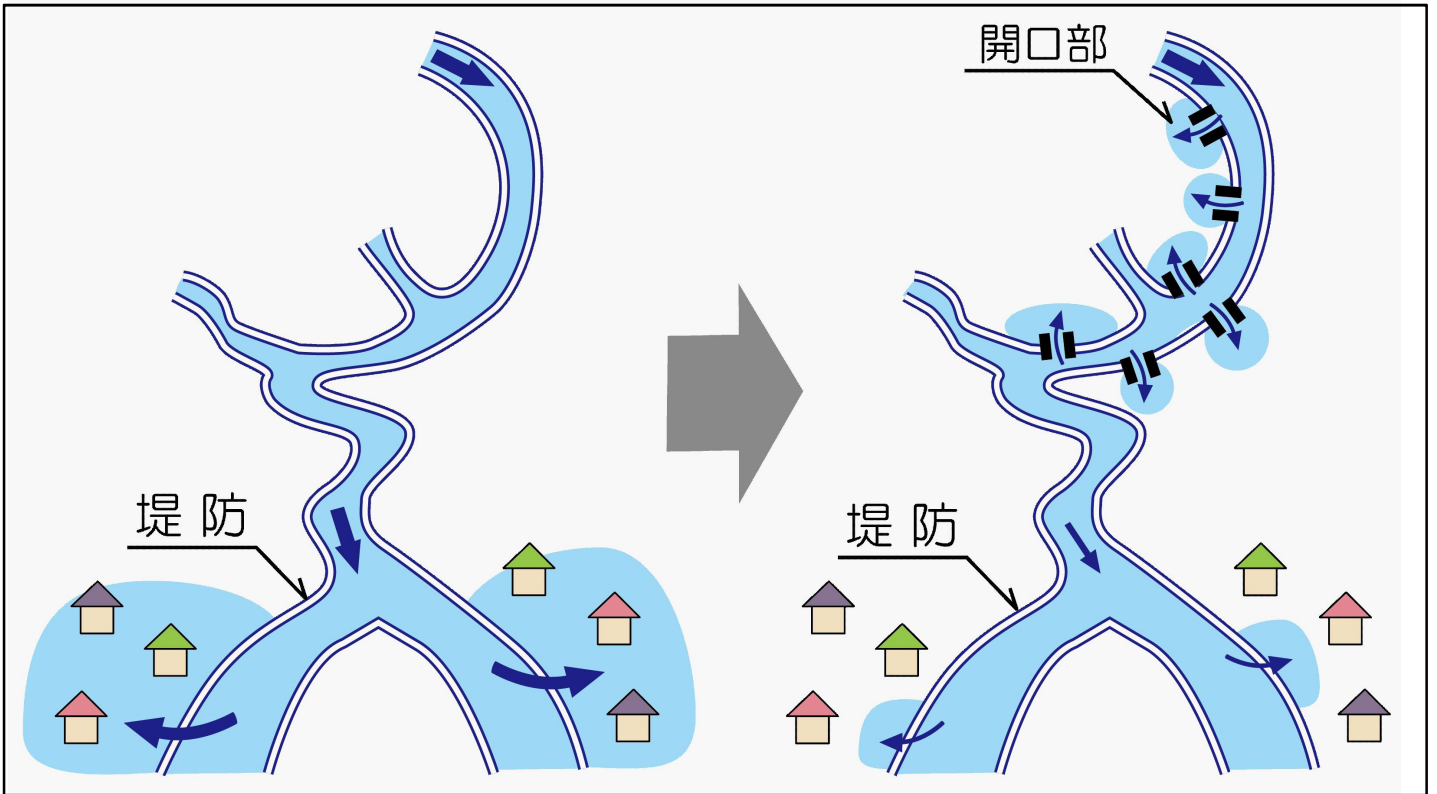
ていぼう みず ふせ
堤防…水を防ぐ
ために土を盛り上げ
てつくったもの。



かいこうぶ そのむら
開口部（其村）

雲出川には、堤防が低くなり途切れている場所があります。

くもずがわ 雲出川では、^{いま}今でも^{かいこうぶ}開口部が⁶6か所あり、^{しんすいひがい}浸水被害のおもな原因とな^{げんいん}なっています。一方で、^{いっぽう}一方で、^{かいこうぶ}開口部から^{みず}水があふれることで、^{かりゆう}下流のほうの^{しんすいひがい}浸水被害がおさえられている^{めん}面もあります。



^{ていぼう}堤防が^{とぎ}途切れた部分^{ぶぶん}（^{かいこうぶ}開口部）の^{はたらき}はたらき

もっと知ろう

^{ゆうすいち}遊水地のはたらき

^{ゆうすいち}遊水地とは、^{おおあめ}大雨がふったときに^{かりゆう}下流のほうの^{しんすいひがい}浸水被害をおさえるために、^{けいかくてき}計画的につくった^{みず}水をためる^{ばしょ}場所のことをいいます。

^{くもずがわ}雲出川では、^{かくち}各地で^{ひとびと}人々が^{じぶん}自分の^{のうち}農地の^{まえ}前に^{ていぼう}堤防をつくったため、^{ていぼう}堤防が^{とぎ}とぎれた^{ばしょ}場所（^{かいこうぶ}開口部）があり、^{ゆうすいち}遊水地のようなはたらきをする^{ばしょ}場所となっていますが、このような^{こうけい}光景は^{ぜんこくてき}全国的にもめずらしいものです。

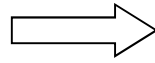
大雨が降ると堤防から水があふれ、命の危険がある。
8ページ以降の導入として、雨の降る前と降った後の様子を紹介。



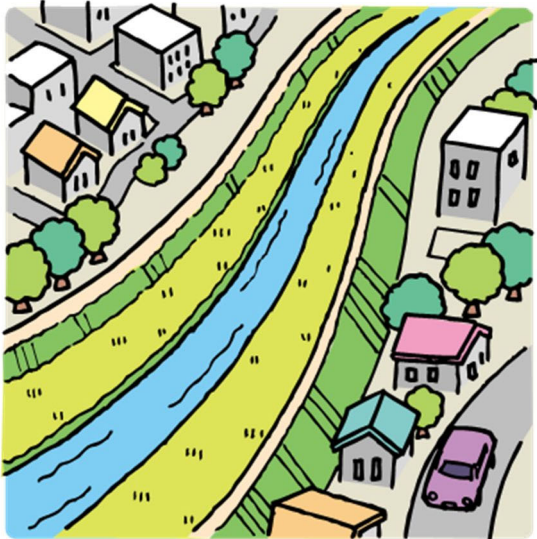
くもずがわ おおあめ かわ みず
雲出川では、大雨のときに川から水があふれないように
ていぼう まな
堤防がつくられたと学びました。
ていぼう みず
堤防があるところからは、水はあふれてこないのかな？

はぜがわ ようす
<波瀬川の様子>

あめ ふ まえ
雨の降る前



あめ ふ あと
雨の降った後



よ ぎもん
良い疑問ですね。

おおあめ くもずがわ じょうりゅう なが たいりょう
大雨がふると雲出川の上流から流れてきた大量
みず ていぼう
の水が、堤防からあふれてしまうことがあります。

くもずがわ おお すいがい さいきん
それでは、雲出川でおこった大きな水害や、最近の
ひがい
被害をみてみましょう。



いせわんたいふう (1) 伊勢湾台風

しょうわ ねん ねん がつ にち はっせい いせわんたいふう たいふうだい ごう
昭和34年（1959年）9月26日に発生した伊勢湾台風（台風第15号）

ちゅうしんきあつ おおがたいふう どうかいちほう おお
は、中心気圧が929.6ヘクトパスカルの大型台風で、東海地方に大きな被害をもたらしました。

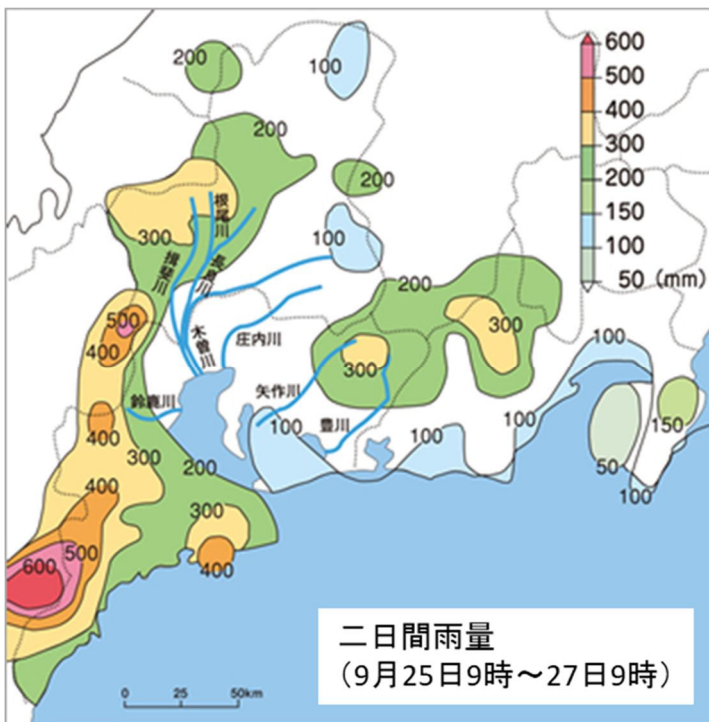
ちゅうしんきあつ ひく たいふう ねん ねん ■ 中心気圧が低い台風（1951年～2019年）

じゅんい 順位	じょうりくじ きあつ 上陸時の気圧 (ヘクトパスカル)	じょうりにちじ 上陸日時
1	925	1961年9月16日9時すぎ
2	929	1959年9月26日18時ごろ
3	930	1993年9月3日16時前

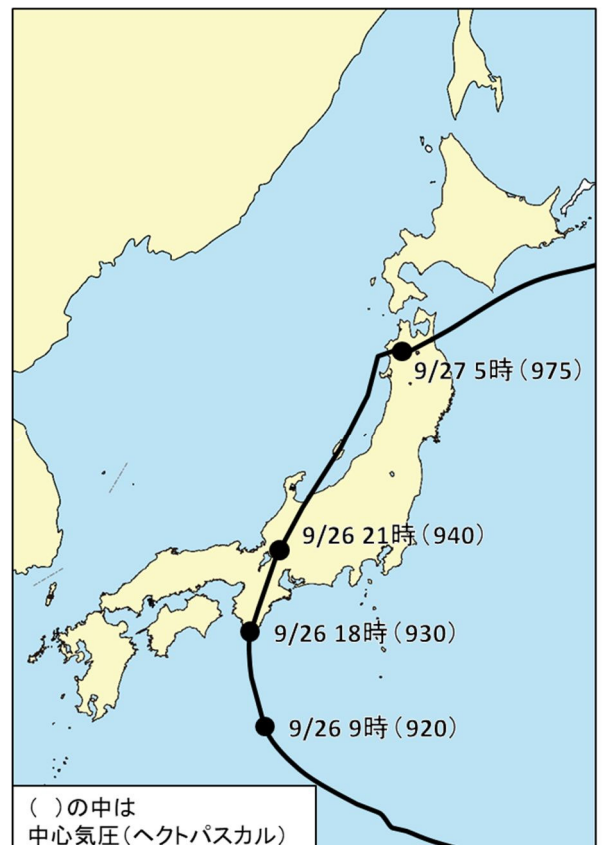


ヘクトパスカル…

たいき あつりよく
大気の圧力をあらわす
たんい すうじ ひく
単位です。この数字が低い
たいふう つよ つよ
ほど、台風の強さは強くなり
ます。伊勢湾台風は、観測
されている中で 2番目に
ちゅうしんきあつ ひく たいふう
中心気圧が低い台風です。



ふつかかん うりょう
二日間でふった雨量



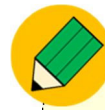
たいふう とお みち
台風の通り道

くもずがわりゅういき
雲出川流域では、3,053戸の建物が浸水しました。中には、建物が
ひがい おお
こわれる被害も多くみられました。

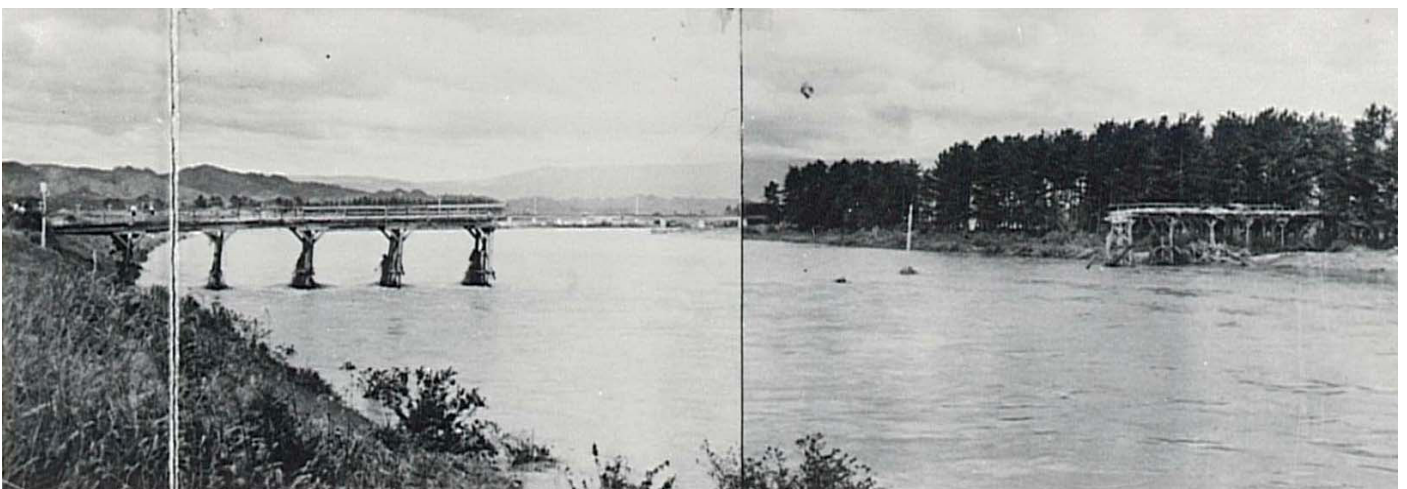
しゃしん ふね じゆう いどう ようす
写真からは、船などがないと自由に移動ができない様子がみてとれ
ます。伊勢湾台風による被害は、生活に大きな影響を与えました。



ふね つか いどう ようす
船を使わないと移動できない様子



やま だいち あまみず
山や大地にふった雨水
は、ひく なが かわ
は、低いほうへと流れ、川に
なが
流れこみます。このように、
あまみず かわ あつ はんい
雨水が川に集まる範囲をそ
かわ りゅういき
の川の「流域」といいます。
くもずがわりゅういき
雲出川流域とは、その
はんい あめ くもずがわ
範囲にふった雨は雲出川に
なが
流れこむという範囲をあら
わします。



はし ようす
橋がとちゅうでおちてしまった様子

写真を中心に伊勢湾台風による被害を知り、
水害で生活に影響を及ぼすこともあることを学ぶ。

もっと知ろう

おおあめ 大雨ってどんなとき？

たいふう ちか 台風が近づいているときに、テレビなどで「明日は猛烈な雨になるおそれがあります。外出はひかえましょう。」というアナウンスを聞いたことはありませんか。テレビなどでの雨の表し方は、下の表のとおりに決まっています。

また、「1時間雨量●mmの雨」とは、「1時間で●mmの深さで雨がたまること」を示します。50mmをこえると非常に危険です。

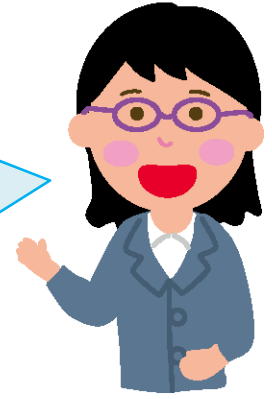
1時間雨量 (mm)	予報用語 (人のうけるイメージ)	人への影響	屋内	屋外	車に乗っていると
10~20	やや強い雨 (ザーザーとふる)	地面からはね返りで足元がぬれる 	雨の音で話し声がよく聞き取れない 	地面一面に水たまりができる 	
20~30	強い雨 (どしゃぶり)	かさをさしていてもぬれる 			ワイパーをはやく動かしても見づらい 
30~50	はげしい雨 (バケツをひっくりかえしたようにふる)		寝ている人のおよそ半数が雨に気づく 	道路が川のようになる 	スピードをあげているとブレーキがかかりにくい 
50~80	ひじょうにはげしい雨 (滝のようにふる)	かさがまったく役に立たなくなる 		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる 	車の運転は危険 
80~	もうれつな雨 (息苦しさ、恐怖を感じる)				

(気象庁提供)

(2) すいがいじ きけん 水害時におこる危険

にほんぜんこく すいがい 日本全国では、毎年のように水害がおこっています。水害がおこると、下の写真のようにさまざまな被害を受けます。

すいがい じょうきょう 水害がおこるとどのような状況になるのかな。
した しゃしん み そうぞう 下の写真を見ながら想像してみましよう。



水害時に起こる危険を考えることで、その後の授業において「わたしたちがとるべき行動」を考える際の土台をつくる。



川に流れる濁った水が押し寄せる。

ていぼう 堤防がこわれる



どうろ 道路がこわれる



かわ みず 川から水があふれる

堤防は壊れていないが、堤防を越えて水があふれることもある。



いえ 家がこわれる

川沿いでは、流れる水のはたらき（侵食）で、家の土台が削られ家屋倒壊の恐れがある。

考えてみよう

次のページも見てね

写真のような被害を受けると、どのような危険があるでしょうか。

こんなときはどうなるかな？



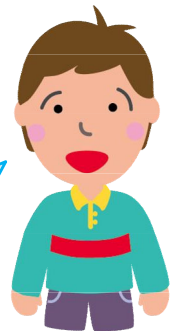
- 家からひなん場所へ歩いて行きたい。
- 近所に住むおばあちゃんといっしょにひなんしたい。
- 車に乗って買い物へ行きたい。

水害が起こった時にとるべき行動を考えることができるように、「水害がおこるとわたしたちはどのような点で困るのか」を想像できるようにする。



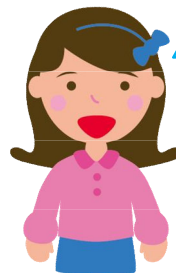
山がくずれて、道路を通れない

台風のときにテレビで被害のようすを見たことがあるよ。



山がくずれて、家がこわれる
もしも家の中にいたら怪我をする。
最悪の場合は死に至る。

わたしたちの身の回りでは、どのような被害を受けたことがあるのかな。



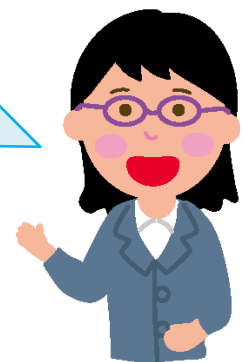
くもずがわりゅういき しょうわ ねん ねん たいふう しんすい
雲出川流域でも、昭和57年（1982年）の台風により、まちが浸水し
ました。きんねん へいせい ねん ねん しんすいひがい う
近年でも、平成16年（2004年）などに浸水被害を受けていま
す。

流れる水のはたらきで、車やがれきなどが住宅地に運ばれてくる。
家が壊れる。道路が通りにくくなる。などの影響がある。



しょうわ ねん ねん たいふう ごう いちしだんち
昭和57年（1982年）台風10号（一志団地）

ふだんはどのようなところかな？
どのような危険があるのかな？
みんなで考えてみましょう。



このときの様子を家族に聞いて
みようかな。

流れる水のはたらきで、道路がくずれることがある。
道路から転落する危険がある。



へいせい ねん (1990年) ねん たいふうだい ごう つ しいちしちょう
平成2年 (1990年) 台風第20号 (津市一志町)



へいせい ねん (1990年) ねん たいふうだい ごう つ しいちしちょう
平成2年 (1990年) 台風第20号 (津市一志町)

川から水があふれ、濁った水が押し寄せてくる。
場合によっては、水路等が見えず、足をとられて怪我をする。



へいせい ねん ねん たいふうだい ごう つしす が せちょう
平成16年 (2004年) 台風第21号 (津市須ヶ瀬町)

濁った水が押し寄せるため、普段に比べて道路が見えない。
ふたのない排水溝があると、見えずに足をとられる危険がある。
車が水没して動かなくなる。



ようす
ふだんの様子



おおあめ ふ あと
大雨が降った後

へいせい ねん ねん たいふう ごう つ しいちしちよう ひさいみすぎせん
平成16年（2004年）台風21号（津市一志町・久居美杉線）
普段、通学路として通っている道も水没する恐れがある。
一面水没するため、車を使った避難ができない。

ようす
ふだんの様子



おおあめ ふ あと
大雨が降った後



へいせい ねん (2013年) ねん たいふう ごう (津市須ヶ瀬町)
平成25年 (2013年) 台風18号 (津市須ヶ瀬町)

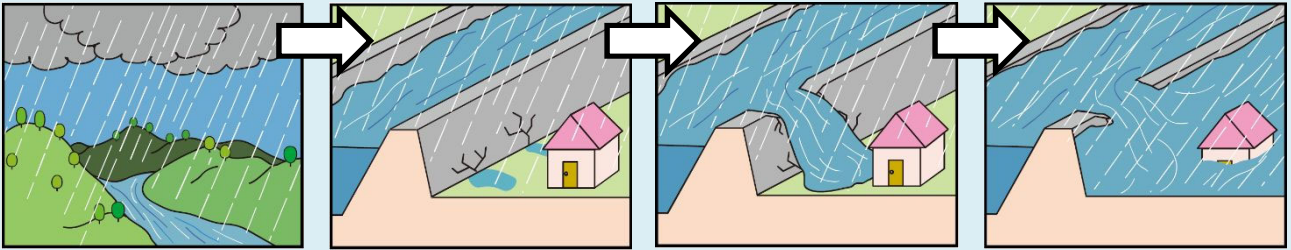
農作物に大きな被害が生じる。周りの土地よりも低い所は、水没する。

もっと知ろう

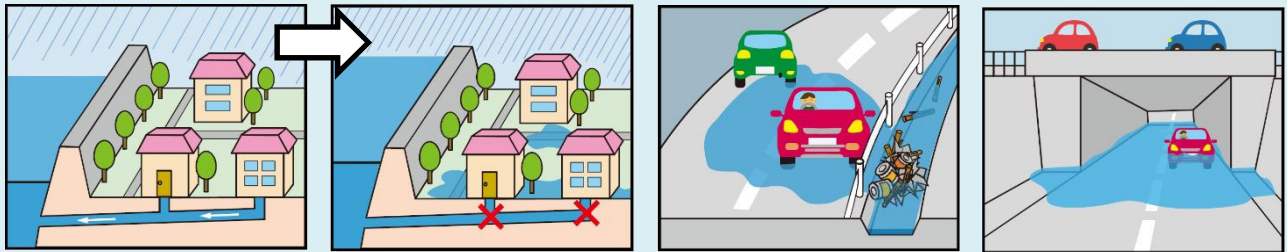
すいがい
水害ってどうやっておこるの？



かわ なが みず りょう おお
川を流れる水の量が多くなると、堤防から水があ
ふれてきたり、堤防がこわれてまちに水が流れてくる
ね。(外水はんらん)



ふだんは、街中にふった雨は、排水溝や下水道を通
って川に排水されます。しかし、大雨がふると川の水
の量がふえ、街中の水が排水できなくなってあふれ
てしまうことがあります。



川とは関係ない場所でも、排水溝にゴミがたまって
しまい道路に水があふれることがあるね。鉄道の
高架下などの道路が低くなっているところに雨水が
たまることもあるよ。(内水はんらん)

もっと知ろう

川の水位の上がり方

雨のふり方や雨のふる場所によって、川の水位の上がり方はさまざまです。ゆっくり川の水位が上がることもあれば、集中豪雨によって水位が急に上がることもあります。

平成20年（2008年）7月、兵庫県神戸市を流れる都賀川では、急な集中豪雨が発生し、10分間で1.34メートルも水位が上がりました。水遊びなどをしていた16人が流され、そのうち5人が犠牲となりました。



10分間
1.34m ↑



川の水が急にふえることもあるんだね。

雨がふると、いつもより川を流れる水の量がふえたり、流れがはやくなったりするから、川では遊ばないようにしましょう。



(1) 水害により身に危険があるとき

わたしたちのまちでも、大雨によって身近な場所が水につかったり、山がくずれたりするかもしれません。万が一のときにそなえて、わたしたちの身に危険があるときにすべきことを考えてみましょう。



水害がおこると、さまざまな危険があることを学びましたね。

わたしたちはどのように行動すればいいのかな。



考えてみよう

次のページを見てね

雨が降ってきたときに、まわりの状況はどのように変化するでしょうか。そして、わたしたちにどのような影響があるでしょうか。わたしたちがとるべき行動をを考えてみましょう。

こんなときはどうなるかな？



- ・自分の家にいるときに雨が強くなってきました。
- ・ひな人をしようとしたときには、あたりが水びたしになっていました。

雨が強くなっていくときを想像しながら意見を挙げていくことで、そのあとに考える「わたしたちの行動」について考えやすくする。

<p>あめ 雨のようす</p>	<p>かわ じょうきょう 川の状況</p>	<p>まわりの状況 まわりの状況</p>
	 <p>ふだんのようす</p>	<p>ふだんのようす</p>
 <p>みず 水たまりができる</p>	 <p>ふだんより水の量が ふえている</p>	<p>あめ つよ 雨が強くなる</p>
 <p>かさ 傘をさしてもぬれる</p>	 <p>水面が堤防に近づいている</p>	 <p>どうろ 道路など一部浸水する</p>
	 <p>みず 水があふれそう または、あふれる</p>	 <p>ていぼう 堤防から水があふれだす</p>
<p>みず 水しぶきであたり一面が しろ 白っぽくなる</p>	 <p>ていぼう 堤防がこわれる</p>	 <p>ていぼう 堤防がこわれる</p>

えいきょう
あなたへの影響

こうどう
とるべき行動



そと で 外に出かけるのが危なくなる



マンホール、水路などが見えない



おぼれたり

なが 流されたりする



ドアが開かず

そと で 外に出られない



まちが浸水して身動きが取れない



ひなんの準備をする



逃げられなくなる前に

安全な場所へ

ひなんする

なが 流されないように

高く安全な

場所へ移動する



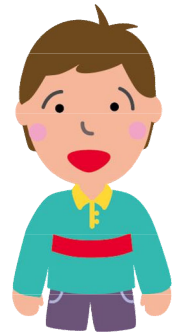
避難が遅れた場合、または、避難した場所に水が押し寄せてきた場合は、高く安全な場所へ移動する。

(2) 知っておくべきこと



わたしたちの身の回りが危険な状況になる前に、早めに安全な場所へひなんすることが大切であることを学びました。

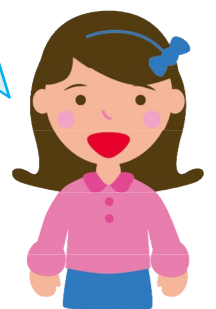
水害がおこったときに、わたしたちの身の回りはどのような状況になるのかな。



自然災害が発生したときに、どこでどのような災害がおこるかを予測して、地図上に危険な地域やひなん場所・ひなん経路などを示したものを「ハザードマップ」といいます。自然災害は、地震、津波、土砂災害、水害などさまざまですが、それぞれの災害についてハザードマップがつくられています。



ハザードマップを見てわたしたちの家や学校の周りの状況を確認してみよう。



考えてみよう

ハザードマップを見ながら、身の回りの危険を確認しましょう。

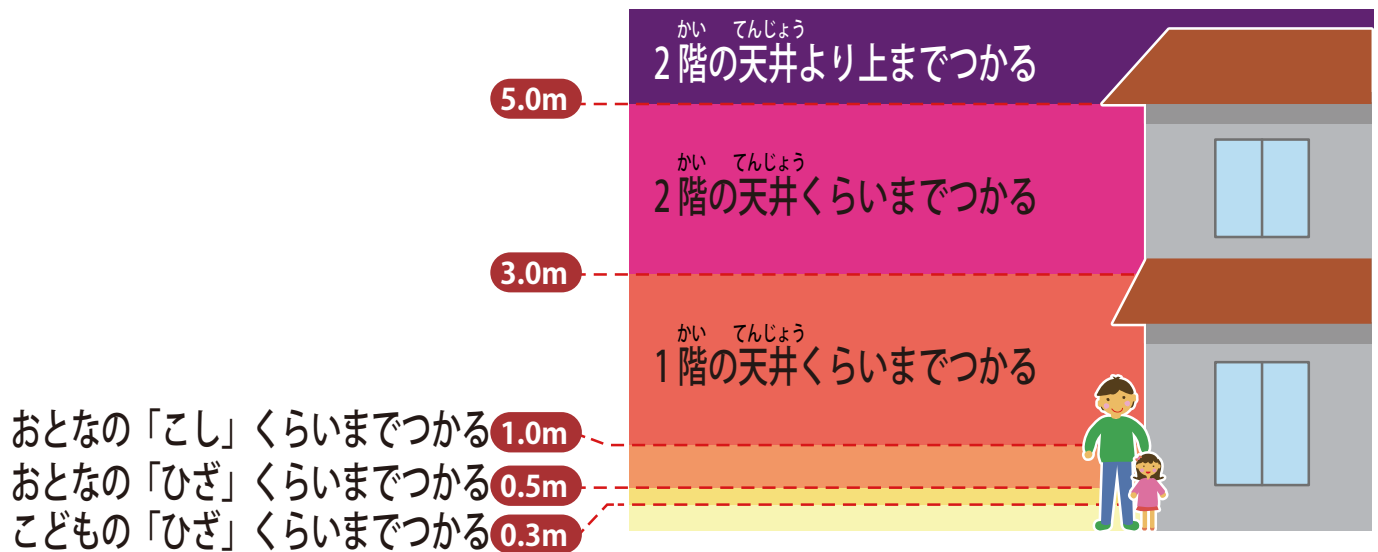
【手順】

班ごとに机を一つにして、大判のハザードマップを見ながら
下記の手順に沿って、身の回りの危険を確認する。
★授業用プリントあり ★宿題用ワークシートあり

① 学校（自宅）の位置に印を入れましょう。

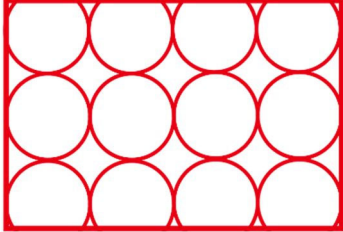



② 学校（自宅）は、水につかりますか？

③ 水につかる場合、どのくらいの高さまでつかりますか？



どのくらいの高さまで水につかるおそれがある
のかは、地図にぬられた色から読みとることができるよ。

④ 学校（自宅）は、建物がたおれるおそれがある地域に入っていますか？

<p>説明 せつめい</p>	<p>かわ みず 川からあふれた水のいきおいで、 たてももの なが ばしよ 建物が流されるおそれがある場所</p>	<p>たてももの どだいぶぶん 建物の土台部分がけずられて、 たてももの ばしよ 建物がたおれるおそれがある場所</p>
<p>しるし</p>		
<p>例 れい</p>	 <p>平成30年（2018年）7月豪雨 愛媛県大洲市東大洲</p>	 <p>平成23年（2011年）台風12号 三重県熊野市井戸町</p>

⑤ 学校（自宅）は安全ですか？

⑥ ひなんのため、学校（自宅）の周りの安全な場所をさがしてみよう。

ちか ばしよ
・ 近くのひなん場所はどこにあるかな？

してい ばしよ
指定ひなん場所のマーク

ばしよ たか あんぜん ばしよ
・ ひなん場所のほかに、高く安全な場所

みず ばしよ
(水につからない場所) は

あるかな？





きょう 今日かくにんしたことは、おうちのひとにも
おし 教えてあげてね。

早めの避難の重要性を、授業のまとめとして伝える。

きょう 今日かくにんした「水につかる地域」は、「雨がふったときに必ず水
につかる場所」というわけではありません。しかし、「このあたりまで水
につかるかもしれない」と考えて、水につかって動くことができなくな
る前に、早め（まえ）に安全（あんぜん）な場所（ばしょ）へひなん（ひな）んすることが大切（たいせつ）です。

もっと知ろう

ひなんについての情報

さいがい 災害がおこったとき、かくしちょうそんちょう じゅうみん 各市町村長は住民にひなんを呼びかける
「ひなん情報」を発令（はつれい）します。意味（いみ）を知（し）っておき、ひなんをする目安（めやす）
としましょう。

警戒レベル3

こうれいしゃとう
高齢者等ひなん

ひなんをする準備（じゅんび）をしましょう。高齢者（こうれいしゃ）の
方（かた）などひなんに時間（じかん）がかかる人（ひと）は、ひなん
を開始（かいし）しましょう。

警戒レベル4

ひなん指示

すぐに、全員（ぜんいん）、ひなんを開始（かいし）しましょう。
移動（いどう）が危険（きけん）な場合は、高い場所（たか）にひなんし
ましょう。

警戒レベル5

きんきゅうあんぜんかくほ
緊急安全確保

さいがい 災害（はつせい）が発生（はっせい）しています。じぶんの命（いのち）を守る
ための行動（こうどう）をしましょう。

(1) 水害で困らない工夫

くもずがわ 雲出川では、すいがい 水害による ひがい 被害をおさえるために、さまざまにとりくみがおこな 行われています。



まいとし 毎年、たいふう 台風はおこっているのに、くもずがわ 雲出川のまわ りでは おお 大きな ひがい 被害は出していないね。

考えてみよう

水害で困らないため、川は普段から管理されていることを知る。取り組みは1つでは無く、いろいろな取り組みがあることを知る。

すいがい 水害による ひがい 被害をおさえるために、どのようなとりくみがおこな 行われているのでしょうか。



考えるポイント

- かわ 川から みず 水があふれないようにするには？
- おおあめ 大雨がふったとき、み まわ 身の回りでどのようなことが おこな 行われているかな？



くもずがわ 雲出川から みず 水があふれないように、つち 土などを もりあげて、ていぼう 堤防をつくっています。

なかむらかわ
中村川

かわ そこ じょうりゅう なが
川の底には、上流から流
れてきた砂や泥がたまって
いきます。そのため、川の底
をほって、流れる水の量を
多くしています。

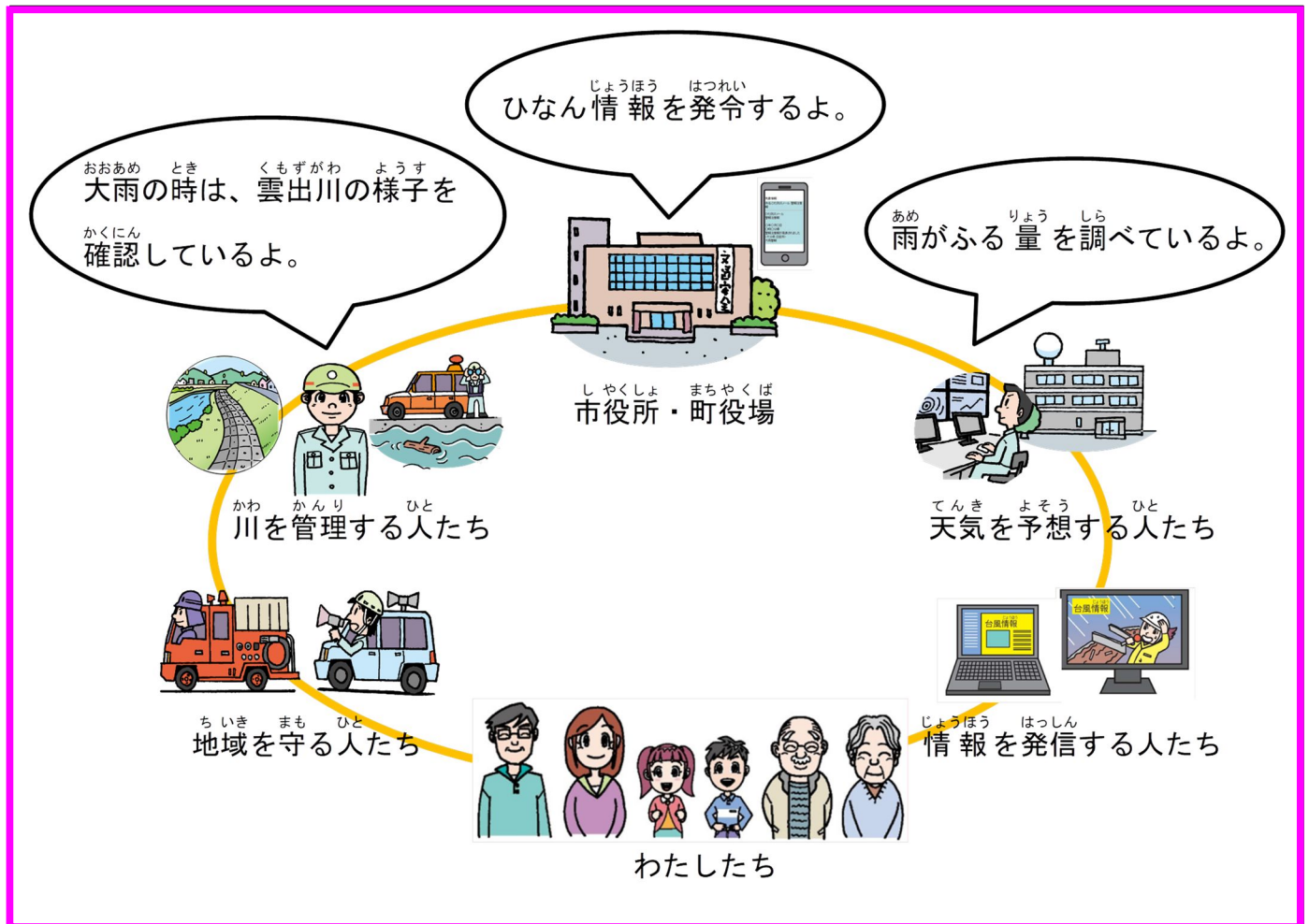
じょうりゅう みず
上流では、ダムに水を
ためて、たくさんの水が川
に流れないように調節し
ています。

きみがの
君ヶ野ダム

ていきてき ていぼう
また、定期的に堤防や
河川の施設が安全か点検を
しています。万が一にそな
えて、水防訓練も行ってい
ます。

このように、川はふだんから安全に管理されています。

また、大雨のときには、川を管理する人たち、天気を予想する人たち、ひなん情報を発令する市役所・町役場、さまざまな情報を発信する人たち、そして、わたしたち一人一人が関わりあっています。役割はさまざまですが、大雨による被害が少なくなるように、一人一人が「自分のいのちを守る」行動をとることが大切です。



水害で困らないため、わたしたちの周りで、
 いろんな人たちが関わりあっていることを学ぶ。
 たくさんの方が、災害にそなえるためには
 たらしているんだね。

(2) 地域の人、家族との助け合い

大雨のときは、天気のようにすやひなんの情報など、さまざまな情報がわたしたちのもとにとどきます。それらの情報や周りのようすを確認して、ひなんが必要なときは家族や地域の人たちと助け合ってひなんしましょう。もしも、家族と別々の場所にいるときに災害がおきたとしたら、まずは「自分のいのちを守る」行動をとりましょう。

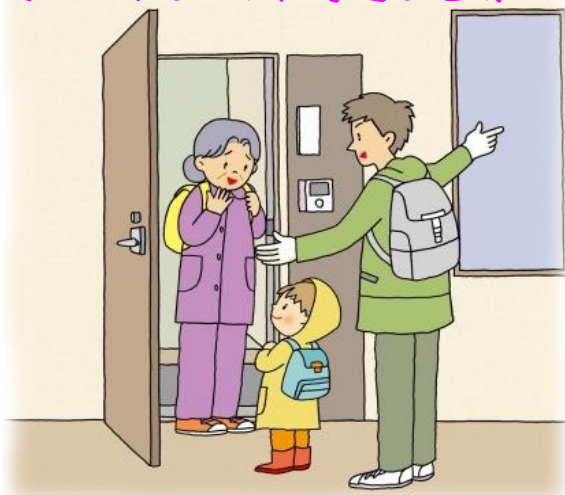
もしものときにそなえて、持ち出し品やひなんをした後に集まる場所を家族で話し合っておきましょう。

もしもの時に備えて、家族と事前に決めておくべきことを学ぶ。



あらかじめ家族と決めておこう	
<input type="checkbox"/>	持ち出し品
<input type="checkbox"/>	ひなん先
<input type="checkbox"/>	ひなんをした後に集まる場所 (家族が別々の場所にいるとき)
<input type="checkbox"/>	ひなんをするときに注意する場所

高齢者の方や、幼い子どもは、一人で避難することが困難な災害弱者であることを学ぶ。また、そのような人が、身近な地域にいる場合は、避難の手助けが必要であることを学ぶ。



高齢者の方や幼い子どもなど、一人でひなんすることがむずかしい人がいれば、周りの人と一っしょにひなんの手助けをしましょう。

もっと知ろう

も だ ひん じゅんび
持ち出し品の準備

ひなん所に準備されているものには、数に限りがあります。もしものときにそなえて、自ら準備しておくとは安心です。両手の空くリュックサックに持ち出し品を準備しておきましょう。



も だ ひん
持ち出し品

携帯ラジオ

懐中電灯

電池

非常食

水

救急医薬品

雨具

現金・貴重品

衣服

ろうそく（マッチ、ライターなど）



もっと知ろう

ひなんするときに注意すること

さんこう
参考：21 ページ

大雨によって、身の回りが危険な状態になることが予想される時は、早めに安全な場所へひなんしましょう。

移動が危険な場合は、高く安全な場所にひなんしましょう。もしも水の中を移動する場合は、棒で足元を確認しながら進みましょう。



この本では、^{ほん}雲出川のまわりの^{くもずかわ}水害^{すいがい}について^{まな}学びましたが、ひっこしを
 したり、^{そと}外^でに出かけたりして、^{ほか}他の^{かわ}川の^{ちか}近くにいるときもあるでしょう。
 水害^{すいがい}だけではなく、^{しぜんさいがい}そのほかの自然災害^{しぜんさいがい}がおこることもあります。そのよ
 うなときも、^{まわ}あせらずに^{ひと}周りの^{たす}人と^あ助け合^{じぶん}って、「^{まも}自分のいのちを守る」
 行動^{こうどう}をとるようにしましょう。^{ひとりひとり}一人一人の^ひ日ごろの^{こころ}心^{こころ}がけが「もしもの
 とき^{あんぜん}のみんなの安全」をつくります。

水害が起こったときに、「行動」することの大切さを最後にもう一度伝える。



ぼくたちのまちの水害^{すいがい}について、いろいろ
 なことを^{まな}学んだね。

台風^{たいふう}や大雨^{おおあめ}のときは、^{こんかいまな}今回^{こんかい}学んだことをいかして、
 自分^{じぶん}のいのちを守る^{まも}行動^{こうどう}ができる^{おも}と思うわ。



将来、万が一、身の回りで水害が起こったとしても、
 今回学んだことを思い出して、焦らずに行動してほしいことを伝える。



川^{かわ}は^{とき}時に^{きけん}危険な^{ばしょ}場所にもなるけれど、^いふだん
 は^{かんさつ}生きものを^{かわあそ}観察したり、^{かわあそ}みんなで川遊びを
 したり、^{ばしょ}いろいろなことができる場所です。
^{おおあめ}大雨^{ちゅういてん}がふったときの^し注意点^しを知ったうえで、
^{しぜん}自然^いとともに生きていきましょう。

川に対して「恐怖」の感情が残らないように、
 1章の内容をおさらいしながら、川には良い所がたくさんあることを伝える。

ワークシート

3 水害時にわたしたちがとるべき行動

うら面にはりつける「とるべき行動」シート

○点線で切り取って使いましょう。必要なものを自由に使ってね。

宿題用ワークシート裏面には、下記のイラストまたは文章を切り取って貼り付けるよう児童に伝えて下さい。必要なものだけを使用してください。



あんぜん ばしょ
安全な場所へひなんする
(場所:)



み
ハザードマップを見て、
いえ がっこう まわ
家や学校の周りの
じょうきょう かくにん
状況を確認する



なが たか
流されないように高くて
あんぜ ばしょ いどう
安全な場所へ移動する



も だ ひん じゆんひ
持ち出し品を準備する



じょうほう かくにん
ひなん情報を確認する

ひなんさき
ひなん先やひなんルート
かくにん
をあらためて確認する

れんらく
おじいちゃん
おばあちゃん に連絡する

み
ハザードマップを見ると
じたく あんぜん
自宅は安全であるため
じたく たいぎ
自宅で待機する

れんらく
() に連絡する

かんりよう
ひなんを完了する

Blank dashed box for additional instructions.

Blank dashed box for additional instructions.

Blank dashed box for additional instructions.

Blank dashed box for additional instructions.

児童の自宅がどこにあるか、避難先や親戚等の家がどこにあるかによって避難行動パターンは異なります。上記に挙げた避難行動以外に必要な行動があれば、点線枠のみ用意した白紙シートを活用してください。

